

実務経験のある教員による授業科目一覧

【通信教育課程 社会福祉学部 社会福祉学科】

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
レクリエーションワーク	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山口栄三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
健康・スポーツ	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
介護概論	2	岡田 稔	高齢化が進むわが国において、介護を必要とする人々は増加の一途を辿っている。本科目は、高齢者福祉施設において、介護員、生活指導員等の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、介護の概念、対象、理念などの総論を学んだ上で、介護予防、自立に向けた介護、認知症ケア、終末期ケアなどの概要について理解を深める。
		櫻井恵美	高齢化が進むわが国において、介護を必要とする人々は増加の一途を辿っている。本科目は、高齢者福祉施設において、介護職の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、介護の概念、対象、理念などの総論を学んだ上で、介護予防、自立に向けた介護、認知症ケア、終末期ケアなどの概要について理解を深める。
		近藤重晴	高齢化が進むわが国において、介護を必要とする人々は増加の一途を辿っている。本科目は、介護支援専門員としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、介護の概念、対象、理念などの総論を学んだ上で、介護予防、自立に向けた介護、認知症ケア、終末期ケアなどの概要について理解を深める。
		柳澤利之	高齢化が進むわが国において、介護を必要とする人々は増加の一途を辿っている。本科目は、高齢者福祉施設において、介護福祉士やソーシャルワーカー、また自治体での介護認定審査委員会としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、介護の概念、対象、理念などの総論を学んだ上で、介護予防、自立に向けた介護、認知症ケア、終末期ケアなどの概要について理解を深める。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
精神疾患とその治療	4	大島一成	精神科(神経精神科)を有する病院において、精神保健指定医、精神科専門医としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、精神疾患やこころの在り方の分析・治療の基本を学ぶ。まず脳神経細胞の生理的理論を知り、次に精神医学の概念として疾患の成因や分類について学ぶ。そして代表的な精神疾患である器質性精神障害・認知症・アルコールや薬物による精神や行動の障害・統合失調症・気分障害・神経症性障害などについての知識を獲得し、精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。
		先崎章	県立の総合リハビリテーションセンター(神経科・精神科)及び大学病院等において、精神保健指定医、精神科専門医としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、精神疾患やこころの在り方の分析・治療の基本を学ぶ。まず脳神経細胞の生理的理論を知り、次に精神医学の概念として疾患の成因や分類について学ぶ。そして代表的な精神疾患である器質性精神障害・認知症・アルコールや薬物による精神や行動の障害・統合失調症・気分障害・神経症性障害などについての知識を獲得し、精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。
教育方法論	2	深沢和彦	小学校教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育の方法・技術の特質、教授・学習理論の変遷、子供の学びと教師の指導方法、学校、教師の意識改革、子供側に立った指導方法、地域の人材活用、コンピュータを利用した指導方法、学習指導案の作成などについて理解する。
		北林敬	高等学校教諭、校長職としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育の方法・技術の特質、教授・学習理論の変遷、子供の学びと教師の指導方法、学校、教師の意識改革、子供側に立った指導方法、地域の人材活用、コンピュータを利用した指導方法、学習指導案の作成などについて理解する。
		磯辺武雄	高等学校教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育の方法・技術の特質、教授・学習理論の変遷、子供の学びと教師の指導方法、学校、教師の意識改革、子供側に立った指導方法、地域の人材活用、コンピュータを利用した指導方法、学習指導案の作成などについて理解する。
障害者福祉論	2	立松英子	養護学校(現 特別支援学校)の教諭経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、まず、障害者福祉の理念と考え方、歴史の変遷、法体系、障害者運動の展開、障害の種類多様性とニーズの多様性など、障害者に関する基礎知識を学修する。そして、福祉現場に出たときに必要な援助方法について、障害別に事例ケースを基に紹介する。障害者福祉に関する施策は近年多くの変化を見せつつあるが、これを単に知識として理解するのではなく、実践と結びつけながら、現場で生きる理解を深める。
		西村明子	知的障害者施設において実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、まず、障害者福祉の理念と考え方、歴史の変遷、法体系、障害者運動の展開、障害の種類多様性とニーズの多様性など、障害者に関する基礎知識を学修する。そして、福祉現場に出たときに必要な援助方法について、障害別に事例ケースを基に紹介する。障害者福祉に関する施策は近年多くの変化を見せつつあるが、これを単に知識として理解するのではなく、実践と結びつけながら、現場で生きる理解を深める。
		村本浄司	児童相談所及び障害児施設において実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、まず、障害者福祉の理念と考え方、歴史の変遷、法体系、障害者運動の展開、障害の種類多様性とニーズの多様性など、障害者に関する基礎知識を学修する。そして、福祉現場に出たときに必要な援助方法について、障害別に事例ケースを基に紹介する。障害者福祉に関する施策は近年多くの変化を見せつつあるが、これを単に知識として理解するのではなく、実践と結びつけながら、現場で生きる理解を深める。
通信教育課程 社会福祉学部 社会福祉学科 14単位			

実務経験のある教員による授業科目一覧

【通信教育課程 社会福祉学部 保育児童学科】

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
保育児童学概論	2	岡野雅子	東京都心身障害者福祉センターや群馬県中央児童相談所での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、人間の生涯発達の中の初期段階である乳幼児期について、その発達の様相を学び、子供が育つことの本質を考えるとともに、子供を育てることの意義について理解する。すなわち、子どもは人的環境をはじめさまざまな環境とのかかわりのなかで育つが、特に「愛着と自立」の観点から考える。また、子どもは生活のなかで育つことから、今日の生活環境の変化を背景として「育つ」「育てる」の関係も変化していることを踏まえ、子どもの発達のしかたの実情に基づいて、保育者に求められるあり方について考える。これらの学習を通して、保育の重要性についての認識を確かなものにする。
		太田節子	幼稚園教諭や主任としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、人間の生涯発達の中の初期段階である乳幼児期について、その発達の様相を学び、子供が育つことの本質を考えるとともに、子供を育てることの意義について理解する。すなわち、子どもは人的環境をはじめさまざまな環境とのかかわりのなかで育つが、特に「愛着と自立」の観点から考える。また、子どもは生活のなかで育つことから、今日の生活環境の変化を背景として「育つ」「育てる」の関係も変化していることを踏まえ、子どもの発達のしかたの実情に基づいて、保育者に求められるあり方について考える。これらの学習を通して、保育の重要性についての認識を確かなものにする。
レクリエーションワーク	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山口栄三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
レクリエーション理論	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮するべき点などを学ぶ。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮するべき点などを学ぶ。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮するべき点などを学ぶ。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮するべき点などを学ぶ。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
健康・スポーツ	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
生物学	2	成田 成	高等学校の教諭(生物)および、生体科学研究所での病理室長としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、生物学の基礎ともいえるべき、生態系、染色体と遺伝子、細胞の核、ホメオスタシス、発生、炭酸同化作用、生物の進化などについて学修する。
少年と犯罪	2	高木俊彦	東京や大阪の保護観察所や、近畿地方や中国地方の更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
		久保 貴	法務省や東京などの保護観察所、関東地方などの更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
障害児療育	2	立松英子	養護学校(現 特別支援学校)の教諭経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、乳幼児の定型発達に関する基本的な知識をふまえながら、特別なニーズのある子どもへの対応、障害の受容期にある保護者への支援のあり方、保育所の職員間や外部専門機関との連携等に視点をおきながら、障害児療育の理論と実践について学ぶ。
		齋藤厚子	付属病院精神神経科小児部の療育指導員や様々な市内の検診事業非常勤心理相談員、発達障害相談・療育センター療育での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、乳幼児の定型発達に関する基本的な知識をふまえながら、特別なニーズのある子どもへの対応、障害の受容期にある保護者への支援のあり方、保育所の職員間や外部専門機関との連携等に視点をおきながら、障害児療育の理論と実践について学ぶ。
幼児体育	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、身体運動に関する基本的な知識(幼児期に体得すべき基礎的動作・基本的運動を含む)の理解を深めるとともに、自身の運動能力を高めるためのプログラム、遊びの要素を取り入れながら幼児体育で取り扱う運動遊び・ゲーム・身体表現等に関する教材研究を行う必要がある。また、運動遊びにおける安全管理および安全教育に必要な知識を学修する。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、身体運動に関する基本的な知識(幼児期に体得すべき基礎的動作・基本的運動を含む)の理解を深めるとともに、自身の運動能力を高めるためのプログラム、遊びの要素を取り入れながら幼児体育で取り扱う運動遊び・ゲーム・身体表現等に関する教材研究を行う必要がある。また、運動遊びにおける安全管理および安全教育に必要な知識を学修する。
体育	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、小学校教育課程における体育授業の基本的考え方や運動指導に必要な基本的知識を理解し、各領域(体づくり運動、器械運動、陸上運動、ゲーム・ボール運動、表現運動、保健学習等)の特性を踏まえ実技を行う。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、小学校教育課程における体育授業の基本的考え方や運動指導に必要な基本的知識を理解し、各領域(体づくり運動、器械運動、陸上運動、ゲーム・ボール運動、表現運動、保健学習等)の特性を踏まえ実技を行う。

通信教育課程 社会福祉学部 保育児童学科 18単位

実務経験のある教員による授業科目一覧

【通信教育課程 教育学部 教育学科】

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
レクリエーション理論	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		中村 裕	総合体育研究所や児童育成協会(こどもの城)での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		山口榮三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
レクリエーションワーク	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山口榮三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
ボランティア論	2	田中利光	病院のソーシャルワーカー及び施設の生活指導員として、また、教会の牧師としての実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、ボランティアについての基礎理論を学修した上で、現場でのニーズの把握、適切な組織構成などの実践理論を、様々な過去のボランティア活動例(災害援助活動、国際交流、社会福祉活動等)を基に学修する。
		中里哲也	病院において医療ソーシャルワーカーとしての実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、ボランティアについての基礎理論を学修した上で、現場でのニーズの把握、適切な組織構成などの実践理論を、様々な過去のボランティア活動例(災害援助活動、国際交流、社会福祉活動等)を基に学修する。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
教育課程論	2	金子康一	小学校教諭、中学校長及び教育委員会学校教育課での実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育課程編成の法的な根拠となる幼稚園教育要領および小学校学習指導要領を歴史的観点から考察する。また、幼稚園教育要領および小学校学習指導要領の改訂の基本方針と改訂の要点を理解する。併せて、学校における教育課程編成を理解し、意義や課題等を学ぶ。
		鈴木邦夫	小学校長及び教育委員会指導課長の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育課程編成の法的な根拠となる幼稚園教育要領および小学校学習指導要領を歴史的観点から考察する。また、幼稚園教育要領および小学校学習指導要領の改訂の基本方針と改訂の要点を理解する。併せて、学校における教育課程編成を理解し、意義や課題等を学ぶ。
		池田芳和	小学校長、教育庁指導課長及び教育委員会指導室長の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育課程編成の法的な根拠となる幼稚園教育要領および小学校学習指導要領を歴史的観点から考察する。また、幼稚園教育要領および小学校学習指導要領の改訂の基本方針と改訂の要点を理解する。併せて、学校における教育課程編成を理解し、意義や課題等を学ぶ。
		伊藤京一	小学校長及び教育委員会の指導主事の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育課程編成の法的な根拠となる幼稚園教育要領および小学校学習指導要領を歴史的観点から考察する。また、幼稚園教育要領および小学校学習指導要領の改訂の基本方針と改訂の要点を理解する。併せて、学校における教育課程編成を理解し、意義や課題等を学ぶ。
英語コミュニケーションⅢ	2	別府結起	高等学校教諭(英語)及び個人塾(英語)経営の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、国際交流の手段・道具としての英語による、実践的なコミュニケーション能力を養う。問題練習と会話を通して、reading、listening、speaking、writingの能力を養う。
		坂 望美	高校において英語教諭の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、国際交流の手段・道具としての英語による、実践的なコミュニケーション能力を養う。問題練習と会話を通して、reading、listening、speaking、writingの能力を養う。
		ティム ホフマン	企業及びユネスコ・アジア文化センターにおける翻訳資料作成、また中学校、高校において英語講師の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、国際交流の手段・道具としての英語による、実践的なコミュニケーション能力を養う。問題練習と会話を通して、reading、listening、speaking、writingの能力を養う。
英語コミュニケーションⅣ	2	別府結起	高等学校教諭(英語)及び個人塾(英語)経営の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力と国際理解を養成する。
		坂 望美	高校において英語教諭の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力と国際理解を養成する。
		ティム ホフマン	企業及びユネスコ・アジア文化センターにおける翻訳資料作成、また中学校、高校において英語講師の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力と国際理解を養成する。
英語コミュニケーションⅤ	2	別府結起	高等学校教諭(英語)及び個人塾(英語)経営の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、国際理解・交流にも役立つ語学力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力を養う。
		坂 望美	高校において英語教諭の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、国際理解・交流にも役立つ語学力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力を養う。
		ティム ホフマン	企業及びユネスコ・アジア文化センターにおける翻訳資料作成、また中学校、高校において英語講師の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指す訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、国際理解・交流にも役立つ語学力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関するより高いレベルのコミュニケーション能力を養う。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
英語コミュニケーションⅥ	2	別府結起	高等学校教諭(英語)及び個人塾(英語)経営の実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指すための訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関する中級レベルのコミュニケーション能力を養成する。
		阿部裕子	教育委員会外部協力員として海外の視察団の通訳及びユネスコのプロジェクト員としての実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指すための訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関する中級レベルのコミュニケーション能力を養成する。
		坂望美	高校において英語教諭の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指すための訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関する中級レベルのコミュニケーション能力を養成する。
		ティム ホフマン	企業及びユネスコ・アジア文化センターにおける翻訳資料作成、また中学校、高校において英語講師の経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、英語聴解力の向上を目指すための訓練と同時に、発話力の定着訓練も行い、実践的英語聴解・会話力の修得をめざす。問題の練習と会話を通して、英語のlistening、speaking、writingに関する中級レベルのコミュニケーション能力を養成する。
心理療法概説	2	野口理英子	病院での臨床心理士、及び県のスクールカウンセラーとしての実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、広く実践されている精神分析的療法、クライエント中心療法、行動療法、認知行動療法、家族療法、芸術療法、芸術療法、森田療法、内観療法、集団心理療法などの考え方を学ぶ。それぞれの理論や定石を知ること、目前の個人に即応するよう工夫し、クライエントの資質や周りの資源の力を生かせるような援助を可能とするために、それぞれのアプローチに関する効用と限界に関する理解を深める。
		中野真也	病院でのカウンセラー、県及び市のスクールカウンセラーとしての実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、広く実践されている精神分析的療法、クライエント中心療法、行動療法、認知行動療法、家族療法、芸術療法、芸術療法、森田療法、内観療法、集団心理療法などの考え方を学ぶ。それぞれの理論や定石を知ること、目前の個人に即応するよう工夫し、クライエントの資質や周りの資源の力を生かせるような援助を可能とするために、それぞれのアプローチに関する効用と限界に関する理解を深める。
通信教育課程 教育学部 教育学科 18単位			

実務経験のある教員による授業科目一覧

【通信教育課程 心理学部 心理学科】

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
レクリエーションワーク	2	古俣 龍一	レクリエーションインストラクター資格を所有し、小学校教諭勤務経験を有する教員の教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
		佐藤 友樹	スポーツクラブや一般企業での児童体操講師、幼稚園での課外体育講師としての経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
		中村 裕	総合体育研究所や児童育成協会(こどもの城)での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
		山口 榮三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、ライフステージ(幼児・児童・青年・老年・障害者)に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。そして、多様な場面での、対象者にふさわしいレクリエーション援助の技術(個別・グループ・環境)を実践を通して身につける。
レクリエーション理論	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修し、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。また、レクリエーションに参加する子供たちの発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		佐藤 友樹	スポーツクラブや企業における児童体操講師、幼稚園での課外体育講師としての経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修し、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。また、レクリエーションに参加する子供たちの発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修し、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。また、レクリエーションに参加する子供たちの発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修し、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。また、レクリエーションに参加する子供たちの発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		山口 榮三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修し、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解する。また、レクリエーションに参加する子供たちの発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
健康・スポーツ	2	飯田 昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		宮田 洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		春田 典三	高等学校教諭(体育)の勤務経験及び学習塾での教室長としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
少年と犯罪	2	高木 俊彦	東京や大阪の保護観察所や、近畿地方や中国地方の更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
		久保 貴	法務省や東京などの保護観察所、関東地方などの更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
社会福祉原論	4	田代 幹康	障害者支援施設や児童養護施設などの社会福祉法人での指導員としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、社会福祉に関する基礎知識の体系的な習得をめざす。具体的には、現代社会において社会福祉が果たしている役割や機能、福祉専門職としての資格である社会福祉士として活躍するために必要な基礎知識、社会福祉の歴史(社会事業成立以前、社会事業成立期、戦後)、社会福祉の法体系と運営実施体制、社会福祉の財源と費用負担、民間社会福祉の組織と活動、日本の社会福祉の動向と今後の課題などについて学修する。
		村川 浩一	川崎市役所民生局・社会福祉主事(福祉事務所・リハビリテーションセンター等を担当)や厚生省大臣官房老人保健福祉部で福祉専門官(高齢者政策全般を担当)としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、社会福祉に関する基礎知識の体系的な習得をめざす。具体的には、現代社会において社会福祉が果たしている役割や機能、福祉専門職としての資格である社会福祉士として活躍するために必要な基礎知識、社会福祉の歴史(社会事業成立以前、社会事業成立期、戦後)、社会福祉の法体系と運営実施体制、社会福祉の財源と費用負担、民間社会福祉の組織と活動、日本の社会福祉の動向と今後の課題などについて学修する。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
精神疾患とその治療	4	大島一成	精神科(神経精神科)を有する病院において、精神保健指定医、精神科専門医としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、精神疾患やこころの在り方の分析・治療の基本を学ぶ。まず脳神経細胞の生理的理論を知り、次に精神医学の概念として疾患の成因や分類について学ぶ。そして代表的な精神疾患である器質性精神障害・認知症・アルコールや薬物による精神や行動の障害・統合失調症・気分障害・神経症性障害などについての知識を獲得し、精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。
		先崎章	県立の総合リハビリテーションセンター(神経科・精神科)及び大学病院等において、精神保健指定医、精神科専門医としての実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、精神疾患やこころの在り方の分析・治療の基本を学ぶ。まず脳神経細胞の生理的理論を知り、次に精神医学の概念として疾患の成因や分類について学ぶ。そして代表的な精神疾患である器質性精神障害・認知症・アルコールや薬物による精神や行動の障害・統合失調症・気分障害・神経症性障害などについての知識を獲得し、精神疾患総論(代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む)、向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化、医療機関との連携について理解する。
心理学的支援法(基礎)	2	新井 雅人	クリニック(精神科・神経科)の非常勤カウンセラーとしての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		鈴木 克也	スクールカウンセラーや保健センターでの心理相談員としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		大島 朗生	NPO東京教育カウンセリング研究所での研究員や部長としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		平久江 薫	医療法人での非常勤心理士やスクールカウンセラーとしての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		橋本 景子	公立中学校におけるスクールカウンセラー、短期大学の学生相談室におけるカウンセリングの経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		長坂 正文	高等学校で教育相談主任として児童生徒の学校生活における学習相談、生活相談などのカウンセリングをしてきた経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
		橋本 景子	公立中学校におけるスクールカウンセラー、短期大学の学生相談室におけるカウンセリングの経験を有する教員の担当により、カウンセリングの歴史、概念、意義、適応及び限界やカウンセリングの土台となる人間の心のメカニズムについて理解し、面接中に生起する様々な現象とカウンセリングのプロセスについて基礎的な内容を学ぶ。また、カウンセラーの基本的態度や面接技法、心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援について、討議や演習を通して実践的に学ぶ。さらに良好な人間関係を築くためのコミュニケーション技法、プライバシーへの配慮などの倫理的側面についても理解する。
社会・集団・家族心理学(家族)	2	石川 清子	小学校教諭経験、及び海外のインターナショナルアカデミーにて、多動症児童・自閉症児への親と教師の教育的関わりへの介入とサポートを実施経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、家族を普遍的固定的な存在としてとらえるのではなく、変動可能な動的な存在として、あるいは開かれたシステムの一部としての家族という見方を学ぶ。また家族が今後どのように変動を遂げる可能性があるのかについて知見を深め、家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について理解する。
		石 暁玲	社会福祉法人で心理職としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、家族を普遍的固定的な存在としてとらえるのではなく、変動可能な動的な存在として、あるいは開かれたシステムの一部としての家族という見方を学ぶ。また家族が今後どのように変動を遂げる可能性があるのかについて知見を深め、家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響について理解する。
通信教育課程 心理学部 心理学科 20単位			

実務経験のある教員による授業科目一覧

【通信教育課程 保育児童学部 保育児童学科】

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
保育児童学概論	2	岡野雅子	東京都心身障害者福祉センターや群馬県中央児童相談所での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、人間の生涯発達の中の初期段階である乳幼児期について、その発達の様相を学び、子供が育つことの本質を考えるとともに、子供を育てることの意義について理解する。すなわち、子どもは人的環境をはじめさまざまな環境とのかかわりのなかで育つが、特に「愛着と自立」の観点から考える。また、子どもは生活のなかで育つことから、今日の生活環境の変化を背景として「育つ」「育てる」の関係も変化していることを踏まえ、子どもの発達のしかたの実情に基づいて、保育者に求められるあり方について考える。これらの学習を通して、保育の重要性についての認識を確かなものにする。
		太田節子	幼稚園での教諭や主任としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、人間の生涯発達の中の初期段階である乳幼児期について、その発達の様相を学び、子供が育つことの本質を考えるとともに、子供を育てることの意義について理解する。すなわち、子どもは人的環境をはじめさまざまな環境とのかかわりのなかで育つが、特に「愛着と自立」の観点から考える。また、子どもは生活のなかで育つことから、今日の生活環境の変化を背景として「育つ」「育てる」の関係も変化していることを踏まえ、子どもの発達のしかたの実情に基づいて、保育者に求められるあり方について考える。これらの学習を通して、保育の重要性についての認識を確かなものにする。
レクリエーションワーク	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
		山口栄三	県レクリエーション協会生涯レクリエーション推進部員としてレクリエーション活動の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義についての理解、個別・グループ・環境を見据えたレクリエーションの援助技術を実践的に身につける。
レクリエーション理論	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、教育・保育・福祉の課題として、レクリエーションについて学修する。また、幼児・児童に対応したレクリエーション援助の意義について理解し、レクリエーションに参加する子ども達の発達段階やさまざまな背景によって配慮すべき点などを学ぶ。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
健康・スポーツ	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		山内健次	陸上競技において、世界選手権およびオリンピックの代表選手としての経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		清水信好	教育委員会での体育課主事、フィットネスクラブにおける運動指導・企画、またスポーツクラブ株式会社経営による実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
		西田 希	自治体、企業における特定保健運動指導、施設における介護予防運動指導、また個人経営による健康教育全般の企画、開発の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、運動やスポーツは発育段階によって質・量とも異なり、基礎体力やスキルを習得するには相応の至適時期があることを理解する。また、場や状況を考慮した各種スポーツや遊びを実践し、歩く、走る、跳ぶ、握る、ぶら下がるなど、種々の動きを促すための「運動」の重要性・必要性を理解する。さらにこれらのことを踏まえて各方面における現場での具体的な運動計画を構築できるようにし、人間の真の健康とは何かを探る。
生物学	2	成田 成	高等学校の教諭(生物)および、生体科学研究所での病理室長としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、生物学の基礎ともいふべき、生態系、染色体と遺伝子、細胞の核、ホメオスタシス、発生、炭酸同化作用、生物の進化などについて学修する。
少年と犯罪	2	高木俊彦	東京や大阪の保護観察所や、近畿地方や中国地方の更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
		久保 貴	法務省や東京などの保護観察所、関東地方などの更生保護委員会での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、少年による犯罪・非行の現状と時代による変化の様相、少年非行に対する警察・裁判の取り組み、児童福祉・少年院・保護観察所などの諸機関における各処遇システムについて理解を深め、更には犯罪・非行の発生機序について素質と環境の両面から解明を試みる。また効果的な治療、処遇の方法、犯罪・非行の被害者支援等についても考察する。
障害児療育	2	立松英子	養護学校(現 特別支援学校)の教諭経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、乳幼児の定型発達に関する基本的な知識をふまえながら、特別なニーズのある子どもへの対応、障害の受容期にある保護者への支援のあり方、保育所の職員間や外部専門機関との連携等に視点をおきながら、障害児療育の理論と実践について学ぶ。
		齋藤厚子	付属病院精神神経科小児部の療育指導員や様々な市内の検診事業非常勤心理相談員、発達障害相談・療育センター療育での勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、乳幼児の定型発達に関する基本的な知識をふまえながら、特別なニーズのある子どもへの対応、障害の受容期にある保護者への支援のあり方、保育所の職員間や外部専門機関との連携等に視点をおきながら、障害児療育の理論と実践について学ぶ。

授業科目名	単位数	教員名	授業内容
幼児体育	2	飯田昌男	高等学校における体育教諭の経験、また専門学校においてレクリエーション・インストラクターの資格申請にかかわる実務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、身体運動に関する基本的な知識(幼児期に体得すべき基礎的動作・基本的運動を含む)の理解を深めるとともに、自身の運動能力を高めるためのプログラム、遊びの要素を取り入れながら幼児体育で取り扱う運動遊び・ゲーム・身体表現等に関する教材研究を行う必要がある。また、運動遊びにおける安全管理および安全教育に必要な知識を学修する。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、身体運動に関する基本的な知識(幼児期に体得すべき基礎的動作・基本的運動を含む)の理解を深めるとともに、自身の運動能力を高めるためのプログラム、遊びの要素を取り入れながら幼児体育で取り扱う運動遊び・ゲーム・身体表現等に関する教材研究を行う必要がある。また、運動遊びにおける安全管理および安全教育に必要な知識を学修する。
体育	2	相原 豊	オリンピック体操選手としての出場経験、また体操教室(体操クラブ)の体操指導の実務経験のある教員がオムニバス形式で授業を担当し、小学校教育課程における体育授業の基本的考え方や運動指導に必要な基本的知識を理解し、各領域(体づくり運動、器械運動、陸上運動、ゲーム・ボール運動、表現運動、保健学習等)の特性を踏まえ実技を行う。
		宮田洋之	スポーツクラブでの幼児体育講師、幼稚園での専任体育教諭としての勤務経験を有する教員がオムニバス形式で授業を担当し、小学校教育課程における体育授業の基本的考え方や運動指導に必要な基本的知識を理解し、各領域(体づくり運動、器械運動、陸上運動、ゲーム・ボール運動、表現運動、保健学習等)の特性を踏まえ実技を行う。
通信教育課程 保育児童学部 保育児童学科 18単位			